



# ADRC Highlights Vol.85

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

January 1 & 16, 2004



## 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。アジア防災センターは、来月2月4、5日にカンボジア国シエムリアップにて第6回年次国際会議を開催することになりました。これもひとえに、1998年7月に設立されて以来の皆様の温かい御支援の賜物と感謝しております。昨年末の国連総会で2005年1月に「国連防災世界会議」をここ兵庫で開催されることが決議されました。これから1年、この準備プロセスに積極的に貢献していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

所長 西川 智



### ➤ アジア最新災害情報：イランの地震

2003年12月26日の現地時間午前5時27分、イランの南東部ケルマン州の古代遺跡都市バム(Bam)に強震が襲いました。米国地質調査所(USGS)によりますと、マグニチュード6.6、震源の深さ10kmを記録しました。国連人道問題調整事務所が1月6日のレポートによりますと、死者3万人、負傷者3万人、家屋を失った人4万5千人、家屋に付いては、バム市街全体の85%に相当する2万5千軒が倒壊しました。これについては、アジア防災センターホームページ内([www.adrc.or.jp](http://www.adrc.or.jp))の最新災害情報をご覧ください。

### ➤ 「国連防災世界会議」が国連総会で決議

2003年12月23日に開かれた国連総会において、「国連防災世界会議」が2005年1月18日～22日の5日間、兵庫県神戸市においてUN/ISDR主催のもと開催されることが決議されました。

国連では、1990年代を「国際防災の10年」と定め、94年には、世界的な防災戦略である「横浜戦略」を策定しました。21世紀に入り、国連は新しい防災戦略を定めるべく、この「横浜戦略」の見直しを進めており、その統括の場として、阪神・淡路大震災から10年となる2005年に当会議を開催します。

当会議では、「横浜戦略と行動計画」の見直しプロセスを締めくくり、21世紀にふさわしい先導的役割を担う防災のフレームワークを策定する、脆弱性やリスクの評価、防災に関する行動計画の実現のための方法を策定する、将来の防災政策のために、ベストプラクティスや過去の災害の教訓を共有する、防災政策の重要性についての人々の認識を高め、災害関連情報の迅速な提供やスムーズな入手を図るといったことなどを、主な目的として掲げています。

ISDRのタスクフォースメンバーでもあるアジア防災センターでは、今後1年間、開催までの準備プロセスに積極的に関わっていく予定です。

当会議の詳細については、[www.unisdr.org](http://www.unisdr.org) をご覧ください。

### ➤ ASEAN 防災委員会が12月にブルネイで開催

第1回ASEAN防災委員会が2003年12月9、10日にブルネイ・ダルサラームのバンダル・シリ・ブガワン市においてASEANメンバー国全ての参加のもと開催されました。

パイロットプロジェクトの一つとして、ACDM Website (<http://www.acdm.net/>)が開設され、ASEAN防災委員会の情報共有の場として活用されることとなりました。アジア防災センターもオブザーバーとして参加し、吉村主任研究員が「総



# ADRC Highlights

## Vol.85

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

January 1 & 16, 2004

合的な防災 (Total Disaster Risk Management (TDRM) Approach) の紹介とともに、2005年1月18~22日に兵庫県神戸市で開催される国連防災世界会議について紹介を行いました。

### ➤ ADRC への来訪者：中国政府民政部より 防災行政関係者7名が訪問

2003年11月28日、中国政府民政部が実施する研修プログラムの一環として、7名の同国防災行政関係者7名が、アジア防災センターを訪問しました。一行は、



同部救災救済司の王振耀司長引率のもと、まず東京で内閣府(防災)および気象庁を訪問し、その後神戸でUN/OCHA神戸および「人と防災未来センター」、ADRCを視察しました。

ADRCにおいては、西川所長がADRCの役割や活動について説明を行ったのち、日本と中国の防災行政協力体制のあり方などについて率直な意見交換を行いました。王司長は、今回の訪問を受けて、ADRCと民政部との協力関係の重要性を再認識され、今後一層の関係強化につなげていきたいと強調されました。

### ➤ ADRC が第3回東アジア都市間会議に参加

2003年10月6日から7日にかけて、ADRCはEMI(Earthquake and Megacities Initiatives)と神戸大学の共催による第3回東アジア地域都市間会議に参加しました。

EMIは都市部における地震防災に取り組んでいる国際NGOで、大地震の危険のある都市のネットワーク化を推進する「都市間プロジェクト」を実施しています。このネットワークは、「クラスター」と呼ばれる地域ごとのグループに分かれ、アメリカ地域、欧州・地中海地域、オセアニア地域、東アジア地域があり、このうち東アジア地域

は神戸、マニラ、上海、ソウルの4都市で構成されています。

第3回東アジア都市間会議には、上記4都市のほかに国際地域協力機関も招待され、ADRCからは芳永管理課長と中村研究員が、コミュニティレベルで実践可能な防災対策の一例として津波避難計画の作成等について紹介しました。

### ➤ SMiRT 会議：チェコ・プラハで開催、ADRC が発表・参加

2003年8月17日~22日、チェコ・プラハにおいて、第17回原子炉構造力学国際会議(SMiRT会議)が開催されました。この会議では、地震ハザード、構造物の信頼性設計等に関して世界の最先端の研究結果が発表・討論され、ヨーロッパ、アメリカ、中国、韓国、日本から総勢約400人の参加者が集まりました。

ADRCからは、栗田主任研究員と矢代主任研究員が参加しました。栗田主任研究員は、「強震動増幅への地盤の不形成性の影響に関する研究」として、地震動が山地形においてどのように増幅して伝播するかに関して、実際の計測と数値シミュレーションによって分析を行った結果を発表し、また矢代主任研究員は、「建物群を対象とした地震ハザードカーブの開発に関する研究」として、主建物の地震ハザード曲線との相関を考慮した代替建物の地震ハザード曲線の評価方法を提案し、計画的視点で代替建物の配置について検討した結果を発表しました。

この件に関する詳細は、栗田主任研究員(kurita@adrc.or.jp)までお問い合わせください。

### ➤ お知らせ

#### □ HPのリンク先と「お気に入り」の変更のお願い

昨年10月よりADRCのwebサーバーがアップグレードされ、使用言語が変更となったため、以前のURLでは不具合が生じることがあります。この場合、誠にお手数ですが、再度当センターHPのトップページ(<http://www.adrc.or.jp/>)よりアクセスのうえ、ブックマーク・リンク等の登録を行っていただけますようお願いいたします。